

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～保健体育～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 「知識及び技能」の習得のための内容はどのようなものであるか。 「思考力、判断力、表現力等」の育成のための、習得した知識及び技能を活用して、より深く考えられるようなような特徴があるか。 「学びに向かう力、人間性等」の涵養のための資料や内容はどのようなものであるか。 	(1) 中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養 (2) 中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること (3) 中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の系統性をどのように取り上げているか。また、日常生活との関連についてどの程度取り上げられているか。 	
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善ができるような内容が、どのように取り上げられているか。 	
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の実態に対応した学びに向かわせる学習活動や学習課題は、どのように扱われているか。 	第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） <u>施策Ⅱ</u> 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成 (1) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26） (2) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26） (3) Ⅱ-9 ICTを利活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	<ul style="list-style-type: none"> 自己の成長や意識の変容を自覚したり、今後の生活改善につなげようとしたりするために、振り返りの場面はどのように扱われているか。 	
	(3) ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学習内容がどのように取り上げられているか。また、その分量はどのようなものであるか。 二次元コードは、いくつ掲載されているか。 	
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさ、重量、ページ数はどのようなものであるか。 	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいやその他の特性の有無にかかわらず、生徒に読みやすいものになっているか（書体・配色・レイアウト等）。 	
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 図表や写真等をどの程度取り上げているか。 	